

令和8年度 久慈市立久慈小学校 まなびフェスト

学校教育目標

たくましく歩む心豊かな子どもの育成

スローガン

あふれる笑顔 ひびく歌声 たくましく歩もう！

たくましい子

自ら学ぶ子

思いやりのある子

自立する久慈っ子



発見 (自己認識)

自分のよさや強みを知り、今取り組むべき問題や課題を見つけ、その解決に向かうとする。

決定 (自己選択・自己決定)

見つけた問題や課題に対しての解決方法を考え、よりよいものを選択し、自分の責任で決定できる。

挑戦 (自己創出)

未知の事象に対しても、間違いや失敗を恐れず、自分から進んで挑むチャレンジ精神が旺盛である。

経営の重点

- 久慈っ子が楽しく活動する学校づくり
- 全員参加の授業づくりと専門性を高める職員研修の充実
- ふるさと久慈を誇りに思い、夢や目標に向かう復興教育の推進
- 校種間連携と家庭や地域との連携・協働の強化

	うける力 〈コミュニケーション力〉	とう力 〈問題発見力・思考力〉	きめる力 〈判断力・問題解決力・決断力〉	いかす力 〈応用力・適応力〉
学校の取組	<p>①いつでも、どこでも、誰にでも、自分から笑顔で、あいさつができる子どもを育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに進んであいさつすることを繰り返し指導し、あいさつをする良さを実感させます。 先生だけでなく、来客や保護者、地域の方々へも進んであいさつできるように指導します。 <p>②自他の命を守り、いじめをしない許さない思いやりのある子どもを育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的なアンケートと教育相談の実施、スクールカウンセラーによるカウンセリング等により、いじめ等の早期発見に努めます。 「思いやり」や「いじめ」をテーマとした全校集会や児童集会を実施します。 <p>③相手に伝わるように、自分の考えを話したり書いたりすることができる子どもを育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育活動のあらゆる場面で「ことばの力」が身につく活動に取り組みます。 成長や変容を自覚できる「振り返り」を毎日書かせたり、話させたりする場を設定します。 全校の場で、各学年発表の場を年1回設けます。 	<p>①問題発見・問題解決する学習を大切に、学び合い高め合う子どもを育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 興味・関心をもって取り組める学習課題を設定し、身に着けた知識・技能を駆使し、思考を働かせて問題解決に向かう授業展開を心がけます。 <p>②自分で考えて行動する子どもにするために、「4つの言葉かけ」を心がけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指示的な言葉よりも、「どうしたの?」「どうする?」「何したの?」「わたしにできることある?」の4つの問いかけを通して、自分で考えて行動するように促します。 <p>③地域とつながる探究的な「久慈ふるさと学習」を積極的に実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活科や総合的な学習の時間を通して、「どうして?」「なんで?」という疑問をもとに、課題を設定し、情報を収集し、整理・分析し、まとめて表現できる探究のサイクルを回した学習過程を意識します。 ふるさと久慈に愛着をもち、地域を学びのステージとして「久慈ふるさと学習」を展開し、よりよいふるさとづくりを目指し、地域とともに歩む学校にします。 	<p>①早寝・早起きなど時間を守って行動し、健康・安全を意識した生活を心がける子どもを育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> チャイムや時間を意識して、素早い行動ができるように繰り返し指導します。 食の大切さを知り、健康を維持増進するための取組を進めます。 避難訓練等の防災教育を通して、自分の身は自分で守るための思考・判断する力を育てます。 <p>②毎日家庭学習に取り組む子どもを育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の内容や手順について「家庭学習の手引き」をもとに、わかりやすく指導します。 「家庭学習計画表」を作成させ、自らの責任のもと、取り組ませます。 授業内容と家庭学習を連動させたり、自分の興味・関心をもとにした学習に取り組ませたり、学びを実感できるようにします。 <p>③メディア(ゲーム、インターネット、YouTube等)と関わる「きまり」を守る子どもを育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> メディア利用の実態把握を定期的に行うとともに、その実態を教職員間、PTA等と共有し、指導に生かします。 メディア利用に係る情報モラル教育を発達段階に応じて実施し、その大切さを自覚させます。 	<p>①学年独自の文化創造や意欲と体力を高める運動などに積極的に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師からの一方的な指導ではなく、教育活動のあらゆる場面で、主体的かつ自治的な活動を大切にします。 体力向上を目的とした「縄跳び十段」の取組に積極的にチャレンジさせます。 <p>②あらゆる場面で、集団を活用した取組や活動を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな校外活動(遠足・見学・野外活動・修学旅行等)など、集団での活動の場を保障し、社会に出たときに困らない子どもを育てます。 <p>③整った教育環境づくりを心がけ、整理整頓と清掃活動を大切にしている子どもを育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 整えられた下駄箱、整然とした机、ゴミが落ちていない教室等の整った教育環境を大切にします。
家庭の取組	<p>①毎日「おはよう」「おやすみ」「ありがとう」「いただきます」「ごちそうさま」などのあいさつを交わし合います。大人から進んであいさつをするように心がけます。</p> <p>②日常会話や家族団らんの時間を大切に、子どもの話に耳を傾け、互いの顔を見ながら話し合うようにします。自分の思いや考えを話したり書いたりすることを褒めます。</p> <p>③学校生活アンケート等の実施に合わせて、困っていることはないか、嫌なことはないかどうか、声がけをします。</p> <p>④大人も子どもも互いを尊重し合い、信頼関係を大切に家庭をつくりまします。</p>	<p>①学校での活動について、内容や楽しかったことなど、子どもの話に耳を傾けます。</p> <p>②子どもが様々な事象に興味・関心をもつことを奨励し、やってみたいことや学びたいことを支援します。</p> <p>③大人から一方的な指導ではなく、「4つの言葉かけ」を意識して行い、子どもの主体的・自主的な活動を大切にします。</p> <p>④子どもの疑問や問いかけに耳を傾け、一緒に考えながら、解決しようとする姿勢を応援します。</p>	<p>①ふだんの生活時間を家族みんなで確認し、互いに守れるように心がけます。安全な生活を心がけるとともに、避難が必要な時の対応について、家族で話し合い確認します。</p> <p>②子どもだけの食事(孤食)をできるだけ避け、一緒に会話しながら食事(共食)をすることを心がけます。</p> <p>③家庭学習の時間を確保し、テレビを消す等、集中できる環境を整え、励ましの声がけをします。</p> <p>④メディアを与える時は、使用の「きまり」を家族みんなで話し合ってから決め、必ず守るように取り組みます。</p>	<p>①子どもの将来を考え、スポーツ活動や文化活動に積極的に取り組ませるように促します。</p> <p>②地域の行事などに積極的に親子で参加するようにします。学校行事にも積極的に参画します。</p> <p>③長期休みなどを利用して、工作や自由研究、読書感想文などに、子どもと一緒に取り組みます。</p> <p>④使用した物はもとに戻したり、汚した物はきれいにするように声がけをします。大人から「丁寧に生きる」ことに心がけます。</p>